

授業科目 聴覚障害Ⅱ演習

【担当教員名】 中野雄一	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

聴覚障害を適確に評価するための各種聴力（覚）検査法を実地に即して習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

学習記録でもある検査記録をきちんと整理し、内容を把握していつでも説明できるようにまとめておく。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	聴力検査にあたって 聴力検査の目的 聴力検査の実際 オーディオメータ、オーディオグラム		講義 実技
2	純音聴力検査 1) 気導聴力検査 マスキング		講義、演習
3	2) 骨導聴力検査		
4	語音聴力検査 スピーチオーディオグラム		講義、演習
5	自記オーディオメトリー		講義、演習
6	域値上検査		講義、演習
7	インピーダンス・オーディオメトリー ティンパノメトリー		講義、演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	プリント配布			

【評価方法】

出席、演習の態度と定期試験から評価する。

【履修上の留意点】